

平成24年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【平成24年11月9日(金)15:00～ 所長室】

- 1 参集者 花田所長、駒場副所長兼管理部長、戸室副所長、
平出技術交流部長、柏崎機械電子技術部長、横塚材料技術部長、山崎食品技術部長、
黒内繊維技術支援センター長、山本県南技術支援センター長、小嶋紬織物技術支援セ
ンター長、加藤窯業技術支援センター長、上沢副主幹

- 2 導入した機器
 - (1) 自動研磨装置(県南技術支援センター)
機種 丸本ストルアス(株)製 テグラミン-25
購入先 (株)アルファテック
 - (2) 高速度ビデオカメラ(機械電子技術部)
機種 (株)フォトロン製 FASTCAM SA3 model60k
購入先 (株)日本電計

- 3 実施経過
平成24年6月19日 銘柄指定委員会開催
7月30日 一般競争入札実施
7月31日 購入契約締結
9月25日 自動研磨装置 納品、検収(9/27)
10月26日 高速度ビデオカメラ 納品、検収

- 4 現在までの使用状況
 - (1) 自動研磨装置
機器の正副担当者2名を配置し、試験運用を開始した。すでに金属組織試験や硬さ試験等のた
め、約40件利用している。
 - (2) 高速度ビデオカメラ
機器の正副担当者2名を配置し、試験運用を開始した。すでに複合材加工技術研究会や研究
開発等に活用している。

- 5 今後予想される波及効果
 - (1) 自動研磨装置
金属組織試験や硬さ試験等の試験片作製を効率的に行うことが可能となり、製品の評価技術や
品質管理能力の向上につながるため、多くの中小機械工業事業者による活用が想定される。
 - (2) 高速度ビデオカメラ
航空機・自動車産業等において、高速に運動する物体の動特性を直接評価できるようになった

ため、技術力の向上や新製品の開発等に資することが予想される。

6 総括

県内中小機械工業者のニーズを適切に踏まえた試験機器を、計画どおり短期間で導入できたものと評価できる。

新年度からの本格的な稼働に向け十分に機器の操作に習熟するとともに、技術交流会や企業からの技術相談などあらゆる機会を通じて今回導入した機器のPRを積極的に推し進め、十分な活用を図っていくこととする。